令和２年度　臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：　　口腔治療・歯周科

第３期中期目標･中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。（塗りつぶし可）

■１．口腔領域における新規組織再生・再建法の開発
□２．高齢者の特性に配慮した口腔疾患の予防法・診断法・治療法の開発
□３．顎口腔機能の維持増進に関する研究
□４．歯科医学臨床教育の質保証に関する研究
□５．その他

研究期間：2018 年～2021 年

研究課題名：辺縁性歯周炎を対象としたリグロス®とサイトランス®グラニュールの併用療法の安全性及び有効性評価のための臨床研究

研究課題の概要及び成果：

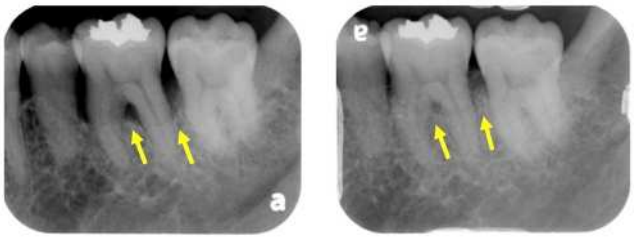
【研究の概要】

2016 年 12 月に我々の研究グループと科研製薬（株）とが共同で開発した「リグロス®」が世界初の歯周組織再生剤として上市され、現在「リグロス®」を用いたフラップ手術が我国における歯周組織再生療法の標準治療となっている。しかしながら、広範囲の歯周組織欠損では「リグロス®」の単独投与での歯周組織再生には限界がある。そこで、本研究では、「リグロス®」の適応拡大を目指し、広範囲の歯周組織欠損を有する辺縁性歯周炎患者 10 名を対象として、「リグロス®」と骨補填材「サイトランス® グラニュール」を併用した歯周組織再生療法を実施し、その安全性と有効性を評価した。

【成果】

10 名の被験者の術後 36 週までの経過を観察した結果、疾病等および不適合事案の発生はなく、安全性に関して問題となる事象は生じていない。また、経過観察中の一部の症例において歯槽骨再生を含めた臨床症状の改善が認められている。

上記概要・成果に関連する図表等



術前　　術後

当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のＢＯＸのいずれかにチェックを付してください。（塗りつぶし可）

■　関連がある
□　関連はない